

議長（門 瀧雄）

これをもって、7 番小川議員の質問を終わります。

次に 8 番、古川幸義君

議員（古川幸義）

質問の前に、2 年前 3 月 11 日、東日本大震災で犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたします。

それでは、質問に入らせていただきます。8 番古川幸義です。議長のお許しをいただきましたので、通告順に従いまして次の質問をいたします。

1 点目は、高原の森整備推進について。

25 年度施政方針の中の公園、緑地、水辺の整備について、高原の森に新種のバラの苗木の移植や、新たな整備について述べられておられましたので、桜の森高原についての質問をいたします。

平成 20 年桃陵公園南に桜の森高原が完成し、早いもので 5 年が経ちました。当時 1.6ha の町有地に、高原基金の森の事業として 3500 万円の助成を受け、総工費 4650 万円で完成し、当初 31 種類、400 本の里桜を植え、町民の憩いの場として施行されました。

5 年経った現在、移植された桜の生育は残念ながら芳しくありません。原因については土壤などが影響していると思われますが現状はいかがでしょうか。また、植栽されたものが桜である為に、開花の時期には人は訪れるのですが、普段は人が少ないのが現状であります。

そこで質問いたしますが、今後、新たな整備の計画や現在植えられている樹木の生育改善、土壤改良など計画があればお伺いいたします。

また、今後町民からの愛着ある公園を目指し、町民との協働での整備の計画や、新種のバラについての紹介、またイベントなど方策があれば併せてお伺いいたします。

2 点目は、幼稚園、学校施設の耐震化について。

24 年度予算にて、4 地区幼稚園の耐震診断を行いました但結果はどの様になったのでしょうか。耐震診断は、建物の耐震性能を現す I S 値で評価いたしますが、今回耐震診断対象となった幼稚園舎は、建設経過年数が 40 年以上であり耐震診断結果では I S 値 0.7 を基準とし、0.7 を上回るものは合格とし、I S 値 0.3 以下であれば地震発生時倒壊、崩壊の危険が大であり、仮に、耐震診断で合格であっても老朽化のため今後建物を存続使用する為には、改修事業が必要とされます。4 地区幼稚園についてそれぞれの地域性、特色があり、園児数が異なり、現役世代の必要とするものがそれぞれ複雑であり、利用する側のニーズは多様化しております。

今後、町の取るべき方針を早急に定めておく必要があります。本町でも以前よ

り検討し、既に計画されているとは思いますが、具体的にお答えいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

以上、高原の森緑化推進についてと幼稚園耐震診断について、2点の質問に対しお答え願います。

町長（丸尾 幸雄）

古川幸義議員ご質問のうち、桜の森高原の整備推進についてお答えしてまいります。

平成20年に完成いたしました当初のコンセプトは、町花町木である桜が2度楽しめると言うことで、遅咲きの里桜を植栽いたしました。まだ町民に喜んでもらえるような効果が上がっておりません。讃岐平野と瀬戸内海の眺望が素晴らしい位置にありますので、町民の憩いの場として活用したいと常に考えております。幸いなことに、この度、新種のバラを寄贈して頂くことになりましたので、このバラのネーミングを公募し高原の森の一角に植栽し、多くの町民皆様にご来場していただき、喜んでもらえるよう計画策定中があります。バラはもちろん里桜の育成を活性化するためにも、土壌改良など必要な手立ては最大限行っていくと考えております。

古川議員におかれましても有効な手段があれば、ご尽力をお願いしたいと思っております。桜の森高原が町民皆様に喜ばれる憩いの場となりますよう、様々な方々とともに推進していくと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げ、その他のご質問には、教育長をはじめ担当課長より答弁してまいりますので、よろしくお願いいたします。

建設課長（島田 和博）

古川議員のご質問の1点目、桜の森高原の整備推進についてお答えをいたします。

この件に関しましては、町長が施政方針で申しましたように、昨年の住民対話集会で、桜の時期以外でも楽しめるよう花木等での整備要望がございましたが、その矢先、先ほど町長が申されましたように、バラとガーデニング協会より、新種のバラの苗木15本をこの春、本町に寄贈いただけることになりました。

現在、協会の方の提案により、廃床菌これはきのこ菌の一種でございますが、それと町シルバー人材センターより提供してもらっております、剪定枝のチップにまぜまして良質の土壌改良剤を作り、バラの苗床及び里サクラ上部に関しまして、若干育性がままならない部分がございますので、その発育増進のため試験的に使用するための計画を現在いたしております。

なお、提供いただいたバラの切花1本なんです。庁舎1階に設置致しまして、町民の皆様に名前をつけていただこうと考えております。併せて、町のホーム

ページ、広報でも名前の募集をすべく準備をいたしております。

今後は、協会のお力も借りながら、町民の方々に普及啓発をしながら、管理面でのお手伝いのお願いができたかと考えております。ご理解を賜りますようお願い申し上げます、答弁とさせていただきます。

教育長（田尾 勝）

古川幸義議員の、幼稚園、学校施設の耐震化についてのご質問にお答えいたします。

ご案内のとおり、町内幼稚園については、そのほとんどが昭和 48 年から 50 年代前半に建設されたものであり、築後約 40 年が経過しようとしています。小中学校の耐震補強対策が先行する中で、保留状態になっていた幼稚園の耐震化についてでございますが、一園ずつ順次実施する計画のもと、平成 24 年度当初において予算計上の上、先行して多度津幼稚園の耐震診断を実施していましたが、I S 値 0.51、Q 値 1.83、つまり園舎の一部で耐震性が乏しいという診断結果により、耐震補強工事の必要有りということになりました。この結果を受けて、多度津幼稚園の耐震補強計画策定について協議をしようとした矢先、昨年 8 月 24 日付文部科学大臣より、「義務教育諸学校等施設の耐震化を平成 27 年度末までにできるだけ早い時期に完了することを目標に、積極的に取り組まれない」旨通知がされました。

そこで、町執行部で協議した結果、残りの 3 園についても今年度中に耐震診断を実施し、4 園全体の診断結果を踏まえて幼稚園全体の耐震補強計画だけでなく、大規模改修も併せて検討を進めるために、残り 3 園の耐震診断業務委託料を 9 月補正で計上させていただいた後、耐震診断作業へと移行しているところです。また、未だ当該作業は今月末を目途に進行中であることから、その結果についてはこの場でお伝えすることはできませんが、その結果いかんによっては新年度早々補正計上の上、早急に耐震補強実施設計に取り組み、それに続き耐震補強工事及び大規模改修を併せて実施するという流れで進める必要があると考えております。

そこで、耐震補強の実施については当然のこととして、併せて実施する大規模改修については、外壁補修や屋上防水等、躯体保全に必要な改修だけでなく、トイレをはじめとする給排水衛生設備の改修や、身体に障がいのある方にも優しいバリアフリー対応、建具や教室の床等の内装改修、空調設備の改修、防犯安全対策等、幼稚園教育の機能充実に必要な改修も併せて考えると、多岐に渡る改修になると考えております。

冒頭でも申し上げましたとおり、町内 4 幼稚園についてはそのほとんどが築後約 40 年を経過していることから、ここ 5 から 10 年内には、法定耐用年数を迎えることを考えると、耐震補強と同じタイミングで大型改修実施する場合にお

いては、その改修規模を必要最小限にとどめ、小学校も含めた学校施設全体の整備計画の中で、改築だけでなく施設の有効利用、園、校の統廃合、そして、特色ある園、学校づくりという多角的な視点から、検討が加えられなければならないと考えるものです。

ただ、今申し上げた部分については、今後の作成に向けて取り組まれる第 6 次総合計画の中へ反映させていくという過程の中で、町執行部を始め議員各位のコンセンサスを得ていくことができるものとするものとする。

以上ご理解賜りますよう答弁させていただきました。

議長（門 瀧雄）

以上で、古川議員の一般質問に対する答弁は町長、教育長、担当課長からありましたが、古川幸義議員、再質問がありましたらお受けいたします。

議員（古川幸義）

第 1 点目の高原の森整備事業については、詳細なお答をいただきましたので、あまり質問はございませんが、まずですね、住民協働で公園緑地化を進めていくうえで、同好会や協力者ができても存続するためには、かなりの努力が必要だと思われます。

ですから、町はその団体に対して、どのような支援をしていかなければいけないか、そういうところがあればお伺いしたいと思います。

2 点目の幼稚園の耐震に対して、大規模改修も考えて計画をされているというお答ですが、私が実は再質問するために用意していた事、すべて答えていただきましたので再質問はございません。

1 点目の高原の森について、再質問よろしくお願ひいたします。

町長（丸尾 幸雄）

古川議員再質問のですね、今桜の森高原を活性化していこう、皆さんに喜んで頂けるような、そのような公園にしたいという私の願いの中で、やはり住民の皆さま方、また、今答弁の中にも申し上げましたが、様々な方々のご理解とご支援いただいて、本当に町民の皆様方、また、町外からお越しただける皆様方に、楽しんで頂ける喜んでいただける空間、場所になればいいなと考えております。その中で、どのような支援ができるかという事ではありますが、まず、今ボランティアの方々の中で、改良というのか、維持管理ですね、そういうものをして頂けるボランティアの方は、現在あるんですけれども、なかなか目立った動きが出来ていないというのが現状であります。ただ、財政的な支援とかという事は今のところ考えておりません。皆様で喜んで頂けるボランティアの方々の、優しい気持ちの支援をお願いしたいと思っております。また、桜の森高原そのものの維持管理に関しましては、今業者の方に年間 50 万円ほどの予算をお願いをしておりますけれども、それも引き

続きをお願いしたいし、その辺のところをもう 1 度相談をさせて頂きながら、考えようとは思っております。

以上で、答弁とさせていただきます。

議長（門 瀧雄）

古川議員、よろしいですか。

議員（古川 幸義）

再質問ではありませんが、要望を述べさせていただきます。

高原の森については、まず土壌改良を成功させて、四季の花々を移植してほしいと強く希望いたします。高原の森に廃床菌や剪定枝を撒きまして、花咲かじいさんの物語のように花々が咲きまして、多度津町に暗いニュースばかりでございますが、明るいニュースとしてですね多度津町に花を咲かせていただきたいと思いますと思いまして、8 番古川幸義の一般質問を終わらせていただきます。